

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年 2月 日

計画の名称	所沢市における安全で安心な暮らしを守る計画的な水質改善と総合的な地震対策の推進			
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	所沢市	
計画の目標				

下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）	①合流式下水道改善率を12%（H22）から100%（H25）に増加させる。 ②下水道総合地震対策計画に基づく耐震対策実施率を0%（H22）から41%（H26）に増加させる。 ③老朽化した管路施設の長寿命化対策実施率を0%（H22）から10%（H26）に増加させる。 ④下水道処理人口普及率を91.3%（H22）から約93%（H26）に増加させる。 ⑤短時間の集中豪雨における懸案箇所（上新井地区）の浸水対策面積を0ha（H22）から9.96ha（H26）に強化する。			
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 合流式下水道改善率 合流式下水道改善済み面積 (ha) / 合流区域面積 845 (ha)	12%	66%	100%	
② 下水道総合地震対策計画に基づく耐震対策実施率 耐震対策実施済みのマンホール数 (箇所) / 耐震化が必要なマンホール数 51 (箇所)	0%	16%	41%	
③ 老朽化した管路施設の長寿命化対策実施率 長寿命化対策実施済みの管路施設 (km・箇所) / 長寿命化対策を実施すべき管路施設 3.748 (km・箇所)	0%	0%	10%	
④ 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)	91.3%	92.5%	93.0%	
⑤ 短時間の集中豪雨における懸案箇所（上新井地区）の浸水対策面積 9.96 (ha)	0ha	9.96ha	9.96ha	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,883百万円	A	1,883百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
所沢市公共事業評価委員会条例に基づく同委員会により意見を求めた	平成28年2月
	公表の方法
	市HPによる

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	国費率	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
柳瀬第1処理分区																
A1-1-1	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	1/2	幹線及び関連枝線整備事業	管渠 L=3,133.2m 舗装	所沢市						387	
柳瀬第2処理分区																
A1-2-1	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	1/2	幹線及び関連枝線整備事業	管渠 L=787.0m 舗装	所沢市						74	
柳瀬第3処理分区																
A1-3-1	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	1/2	合流改善事業	貯留施設100㎡ 管渠 L=363.0m 夾雑物除去施設 等	所沢市						429	
A1-3-2	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	1/2	上新井地区雨水貯留施設	貯留施設1,800㎡ 管渠 L=173.65m	所沢市						253	
柳瀬第4処理分区																
A1-4-1	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	1/2	幹線及び関連枝線整備事業	管渠 L=2,779.55m 舗装	所沢市						368	
柳瀬第1～4処理分区																
A1-5-1	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	1/2	下水道総合地震対策事業	管渠、マンホールの耐震化等	所沢市						116	
A1-5-2	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	1/2	管路施設長寿命化対策事業	長寿命化調査	所沢市						27	
小計											1,654					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	国費率	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	国費率	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

その他関連する事業																
計画等の名称 防災の街づくりを目指す所沢市の下水道(防災・安全)																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	国費率 (基本)	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
A-1-3-1	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	1/2	合流改善事業	貯留施設2,300m ³ 管渠 425.55m 夾雑物除去施設 等	所沢市						311	
A-1-5-1	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	1/2	下水道総合地震対策事業	マンホールの耐震化 等	所沢市						201	
A-1-5-2	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	1/2	管路施設長寿命化対策事業	長寿命化調査、計画策定	所沢市						87	
										合計					599	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度で緊急改善事業が完了した。貯留施設の築造や雨水吐のスクリーン設置などにより、公共用水域の水質保全が図れた。 ・重要な幹線のマンホールについて耐震化を行ったことから、地震発生時における下水道施設の安全性と機能保全が図られた。 ・老朽化した管路施設の調査を行い施設の状態を把握したことにより、今後長寿命化計画の策定につなげることができるが、対策は未実施である。 ・未普及地区の下水道整備により、多くの市民の生活環境改善と公共用水域の水質保全が図れた。 ・浸水懸案箇所の上新井地区の対策を行った結果、その後被害は発生していない。 				
II 定量的指標の達成状況	指標①（合流式 下水道改善率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因		
		最終実績値	100%			
	指標②（下水道 総合地震対策計 画に基づく耐震 対策実施率）	最終目標値	41%	目標値と実績値 に差が出た要因		財政が非常に厳しい状況の中で、平成25年度までに完了させる合流改善事業や汚水整備を重点的に行い、計画的な耐震対策が進めることができなかった。そのため、対策が必要なマンホール51箇所のうち最終目標値を21箇所（41%）としていたが、進捗が遅れ14箇所（27%）の対策となった。
		最終実績値	27%			
	指標③（老朽化 した管路施設の 長寿命化対策実 施率）	最終目標値	10%	目標値と実績値 に差が出た要因		昭和30年代から布設された地区を優先して、平成23～25年度にTVカメラ等調査を実施し状態の確認を行ったが、先に既存下水道施設全体の維持管理方針を策定することとしたため長寿命化計画策定に至らず、目標とした対策工事を行うことができなかった。
		最終実績値	0%			
	指標④（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	93.0%	目標値と実績値 に差が出た要因		
		最終実績値	93.0%			
	指標⑤（短時間 の集中豪雨にお ける懸案箇所 （上新井地区） の浸水対策面積 9.96（ha））	最終目標値	9.96ha	目標値と実績値 に差が出た要因		
		最終実績値	9.96ha			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）						
3. 特記事項（今後の方針等）						
<ul style="list-style-type: none"> ・合流式下水道緊急改善事業の目標は達成したことから、今後は、合流改善施設が良好に機能するよう適正な維持管理を図っていく。 ・下水道総合地震対策事業及び下水道長寿命化対策事業は、引き続き、防災・安全計画により事業を進めて、同計画で定めた平成29年度までの最終目標値の達成を目指す。 ・幹線及び関連枝線整備事業（未普及対策）は、生活環境の改善や河川等の水質保全を図るため、引き続き新しい社会資本総合整備計画（H27～H31）において進める。 ・浸水対策等を進めることにより、浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしの実現を目指す。 						